

二〇二五年五月一七日

パドックの栗毛の気合汗光る	こすもす
薫風や水面のみどり揺れやまず	澄子
瀬しぶきに雫の光る齒朶涼し	康子
おつちやんの怒号も走る草競馬	もところ
藤棚の風に煌めく洩れ日かな	康子
出走待つ緊張感や馬場薄暑	よう子
水底の石にはりつく蝌蚪の群	なつき
女騎手人氣薄なる草競馬	うつき
木洩日の大樹の根方著莪浄土	むべ
鞭一打勝馬目指す走りかな	わかば
競馬場夏空高く日章旗	ぼんこ
武蔵野の野花活けたる竹の籠	澄子
重馬場の砂蹴散らせて草競馬	うつき
五月晴駿馬見定むパドックへ	わかば
初めての馬券的中汗握る	よう子

定例WEB句会みのる選

二〇二五年五月一七日